

議会だより

2004
11



ユニークで創造性豊かな
作品が並んだ造形フェスタ
10月17日 三段池公園にて

9月定例市議会の概要

9月定例市議会は9月8日から30日までの23日間にわたって開催された。この議会には、「平成16年度福知山市一般会計補正予算」など17議案が提出されたが、その内15年度の歳入歳出決算と企業会計決算の認定2議案については、決算審査特別委員会を設置して継続審査とし、残りの15議案をいづれも原案どおり可決した。

なお、10日に追加提案のあった台風18号の被害による災害復旧にかかる補正予算1議案については緊急を要するため、同日、審議、可決した。

◆平成16年度補正予算

一般会計では、台風18号の被害による災害復旧費1,010万円、地域経済活性化緊急特別事業1,110万円、基盤整備促進事業(遷喬I・II地区)4,514万1千円、児童扶養手当2,100万6千円、街路事業(寺町岡篠尾線惇明工区ほか)1億56万円、三段池公園整備事業4,392万円、南陵中学校管理棟外壁改修事業1,000万円など計2億9,552万9千円を補正し、補正後の総額を2億67億9,275万9千円とした。

また、石原土地地区画整理事業特別会計200万円、水道事業会計の下荒河浄水場築造工事初年度分3億7,901万3千円、病院事業会計3億1,902千円をそれぞれ補正し、補正後の全会計の総額を6億85億2,508万7千円とした。

◆条例

福知山市治水記念館条例の制定及び福知山市手数料条例並びに福知山市ガス供給条例の一部改正を行った。

◆その他

●川口中学校全面移転改築事業校舎棟改築工事請負契約
5億7,708万円

●損害賠償の額について(2件)

◆報告

●継続費精算書の報告について
●損害賠償の額について(2件)

◆人事議案

- 教育委員
人見 洋一氏 (蛇ヶ端, 61歳, 再任)
井本 哲夫氏 (上野, 61歳, 新任)
- 固定資産評価審査委員会委員
細見 均 氏 (昭和新町, 54歳, 新任)
- 人権擁護委員
芦田美津子氏 (多保市, 73歳, 再任)

◆国へ提出した意見書

●郵政事業の経営形態に関する意見書
(8ページに詳細を掲載)

9月 定例会 一般質問



自民クラブ

和田 久 永田 時夫

市長の基本姿勢について

問 議員の提言について取り入れる考えは。

答 いろいろなケースがあるが、議会制民主主義の主旨を充分に踏まえ、財政面等も含めて総合的に勘案しながら謙虚にお聞きし、まちづくりにかしていききたい。(企画環境・秘書広報課)

市町村合併問題について

問 難問題が山積しているが、今後の予定と課題は。

答 支所機能や議員定数など、これらの課題を早く調整し、遅くとも平成17年3月末までに京都府に合併申請できるように全力をつくす。(企画環境・企画推進課)

福祉行政について

問 市が生活保護申請を却下し、府が却下を取り消した問題が新聞報道されたが、福祉の基本姿勢は。

答 今回の問題は、就労に対する指導、助言不足と考えられる。さらに、きめ細やかな対応についての研

修、研さんを強めたい。職員と受給者との関係は、いわば車の両輪。被保護者のニーズを的確に把握し、相手の立場を理解し、良き相談相手となるよう研さん、業務に努めることが大切だ。(福祉・社会福祉課)

市庁舎前の駐車場について

問 庁舎周辺の駐車場不足に、増設の要望が多くあるが、対策は。

答 来庁者に不便をかけていることは認識している。拡張は必要だが、しばらく時間がほしい。(総務・総務課)

下六人部地区整備計画について

問 国道9号多保市岩崎間の自転車歩行者道設置の進捗状況は。

答 六人部中学校から岩崎までの延長920m、幅4.5mで、国土交通省には今年度中に用地測量、建物調査を実施し、調査終了後に用地買収を進めていただけるようお願いしている。(建設・管理課)

問

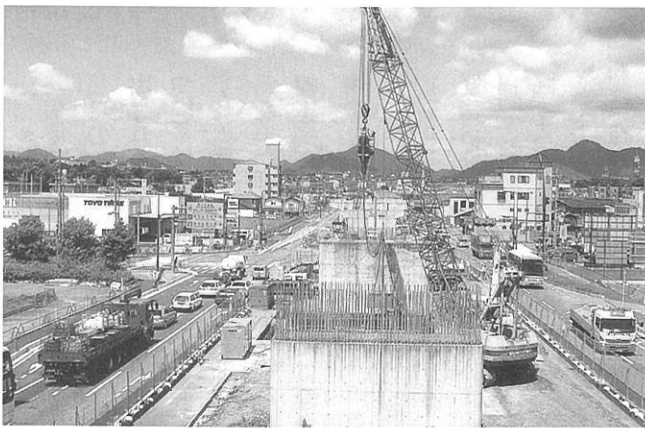
大型店出店計画がある中、地元住民は、今まで長田野企業41社のベルト地帯5kmを越えて買物にいかねばならず、今回の出店計画を大歓迎で心

待ちしている。過去には市内の商工会も本市も『共存共栄』で対応しているが。今以上に交通渋滞が懸念される。本市としては、地域住民の安全を最優先に考えることが大切であり、関係機関とは十分に相談、協議していきたい。(経済・商工業観光課)

国道9号福知山道路事業について

問 当初計画とずい分遅れているが、進捗状況と完成時期は。

答 全区間5.8kmだが、全部の事業用地確保に向けて用地買収に取り組んでいる。長田野から羽合交差点までの4車線化は平成20年度の完成をめざしたいと聞いている。(建設・管理課)



四車線化工事が進む国道9号堀高架橋

新政会

田淵 弘 杉山 金三
塩見 仁 審良 和夫
井上 重典 福島 慶太
松本 良彦

高日市政の推進について

問 新年度予算編成の考え方は。

答 厳しい状況が考えられるが、都市基盤整備を着実に発展させ、市民が待望する市民病院の全面改築を進めるとともに、事業を厳しく選択して優先順位を見極め、健全財政の堅持を基本に考えていきたい。(総務・財政課)

問 北近畿の都づくりをめざす市長の信念は。

答 将来の100年を展望し、情報通信や広域行政、産業基盤、森林など固有の歴史を土台にして、広範囲から多くの人と物が集まり、にぎわいと風格があるまちづくりに心血を注いでいきたい。

問 ふれあいミーティングの目的と意義は。

答 自分の耳で聞き、自分の言葉で話をするなど、市民の目線で市政の運営をしていくという選挙公約を実現したもので、7回予定している。今後のまちづくりの参考にするとともに、市民の満足度の向上をはかりたい。

問 市職員の意識改革の必要性はどうか。

答 職員への訓示として、①市民はお客様として、いらっしやいませ運動を、②全職員が広報マンとして市民にアピールを、③報告、連絡、相談することにより市民の苦情に迅速に対処することなどを徹底した。

(企画環境・秘書広報課)

行政改革と市民参加推進について

問 第三次行政改革実施計画の進捗状況は。

答 114項目の内、平成15年度末までに、83%の進捗となる。

問 行政の住民参加の推進において、一定のルールづくりとして市民参加条例制定の思いは。

答 市民参加のまちづくりの推進を行政改革大綱の重点項目に位置づけており、現在のところ条例制定の考えは持っていない。
(企画環境・企画推進課)

有事の際の初動対応について

問 地震などいざというとき、高齢者や障害者の方たちなど、要配慮者への対応策は万全か。

答 民生委員、社会福祉協議会、自治会に協力を求めることにしている。プライベートに配慮しながら、所在状況を把握することが大切と考える。
(総務・総務課)

合併問題について

問 今後のスケジュールと本市の対応は。

答 7項目の確認事項が残っているが、法定協議会の回数を増やし

ても12月議会上程をめざし、地元説明会も含めてブレずにやっていく。三町の色を消すことなく、本市の考えを明確に示し進めていく。
(企画環境・企画推進課)

非核宣言都市の本市施策について

問 基本的考え方と来年の事業計画について。

答 昭和62年に核兵器廃絶を宣言し、戦争は最大の人権侵害と訴えてきた。来年は戦後60年となり、市民にアピールできる事業を検討していく。
(市民人権・人権推進室)

国道429号の安全対策について

問 増加の現状と429号から市道への分流による安全対策は。

答 ゆずりトンネル開通後、新庄交差点で21%程度増加している。市道への分流の影響は、地元自治会長と協議して安全対策を進める。
(市民人権・生活交通課)

福政会

芦田 廣	和泉すゑ子
野田 勝康	武田 義久
芦田 弘夫	竹下 一正

市民窓口のサービス施策について

問 ワンストップサービス体制の現状及び行政窓口総合化に向けた関連業務の整理と窓口の環境整備は。

答 ワンストップサービスを目標に事務改善や類似関連業務を整理し、

従来から市民サービスの向上に取り組んでいる。あらゆる人権施策対応のため、関係業務を人権推進室に、環境に関する対応は環境推進室に集約するなど、機構改革により業務を推進している。窓口はわかりやすい案内表示や乳幼児対策、障害者の方にも配慮した整備をしている。
(企画環境・企画推進課 市民人権・市民課)

住民基本台帳ネットワークシステム

問 におけるカードの交付と使用状況は。

答 住基カードの交付は全国的にも低調で、福知山市は8月末で99枚発行した。予算計画は人口比3%で2,000枚を予定したが0.15%の普及率である。経費はシステム賃借料や保守料など3,400万円、交付税措置である。住民票の広域交付で他市町分は53件、本市住民の他市町交付分は32件で、転出入のカード利用はない。
(市民人権・市民課)

福知山市環境対策の推進について

問 リサイクルプラザ内の出火原因と工事の必要性について。

答 ダクトに点検口設置の開口作業中にグラインダーの火花がプラスチックゴミに引火したもので、開口工事は設計不備によるものではない。施設全般の性能確保を含め、機能充実をはかるものである。
(企画環境・環境推進室)

福知山駅周辺地内の土壌汚染の処理や責任問題について。

問 中丹西保健所から周辺の環境汚染はないとの見解であり、土壌処理

は環境部局の指導を得て対処する。責任問題はJR西日本の追加調査を踏まえて関係法令に基づき誠意ある対応を求めていく。
(駅周辺整備室)

地域防災計画の確立について

問 大規模災害時の受援計画、自主防災組織の育成や防災無線の使用について。

答 府が消防緊急援助隊受援計画を策定している。地域防災は住民の協力なしには実現できないので、自治会で自主防災組織の設置に向け努力する。防災行政無線を使用し、双方方向の情報伝達ができるように災害対策本部で指示をする。
(総務・総務課、消防本部)

本市の入札制度(設計業務)のあり方について

問 本市の設計業務の入札制度の改善、地元業者が潤う仕組みの構築が必要では。

答 平成14年の政令改正により、今年8月から最低価格設定の導入をはかった。今後は、分離発注ができるよう努力していきたい。
(建設・契約検査課)

道路施設の管理体制について

問 道路施設が老朽化、事故等で損傷したものが適切に改善できるような体制が整っているのか。

答 それぞれの自治会等からの通報などを踏まえて、早期改善がはかれるよう努力していきたい。
(建設・管理課)

市有地や民有地の管理について

市、公社の所有地、または、不在者民地の管理のあり方をどのように考えているのか。

基本的には地元自治会で自発的に取り組んでいただいている。不在者民地については、市道に影響がある場合、地元自治会と協議のうえ対応していきたい。

府道三俣綾部線等の整備について

コスト圧縮の1.5車線整備へ京都市がガイドラインを策定したが、ぜひ、その構想を三俣綾部線で実現できないか。

府のガイドラインに沿って1.5車線による道路整備を検討されるよう京都市に要望していきたい。

三俣から三和町芦洲の府道市島和知線までの土師川右岸道路設置を要望できないか。

ふるさとルート9ネットワーク協議会では、国道9号の連続カーブの解消などを関係機関に要望しており、検討したい。

地域消防施設の整備充実について

上六分団第一部車庫の改修と池田地区の警鐘台をコンクリート柱へ更新する考えと設置場所は。

当分の間、現状での使用をお願いしたい。なお、シャッターのスムーズな開閉については、早急に消防団と調整し善処する。消防団のホース干

場を兼用する警鐘台については、消防団員の安全確保の面からもコンクリート柱への切り替えを進めているところであり、場所は地元と調整をはかりながら検討していきたい。

平成会
有 幸男 加藤 弘道
立道 正規

市町村合併について

市長の合併に対する決意は。

昭和の大合併から50年が経過した。1市3町にはそれぞれの色があるので、それを大切にしながら「ひと、もの、情報」が集まる100年の計画のま

未確認の合併項目についての見解は。

議員定数は定数特例で、32名が妥当と思う。大江病院は公営で引き継ぐことはありえない。民営にするのであれば、合併のスタートまでに考えている。

下川口地区の由良川改修対策は

石本勅使区間の築堤工事の早期完成を望んでいるが、見通しは。

国土交通省から右岸上下流の状況をしながら整備を進めたいと聞いている。対岸の安井地区の早期整備

をはかることが石本勅使間の早期完成につながるかと考えている。今後とも両岸の早期完成に向け事業推進を国にお願いしていく。

旧金山小学校の跡地利用について

転用問題については、再三質問をしているが、その後、どのような検討が進められているか。

高齢者が利用できる施設として活用できないか教育委員会内部で協議したが、いろいろな条件整備が必要。地元の方々に参加してもらい、施設活用を検討していかないと考えている。

合流式下水道の改善計画について

1本の管で雨水と汚水を集めて流す「合流式下水道」を改善するための改善計画が進められているが、アドバイザー会議の設置の目的は。

市の中心部127haが合流式で整備されており、今後、10年間で改善を行う必要が生じているため、委員には改善に向けた基本的な考え、河川に与える影響、改善計画などの意見をうかがうこととしている。

小中学校の校内暴力について

小中学生の暴力、いじめの現状と原因などの変化は。また、スクールカウンセラーの取り組みは。

継続したいじめはないと考えている。しかし、暴力もいじめも被害

者にとつては深刻である。早期発見に努めることが最大の課題であり、それぞれのケースにあった取り組みを今後行う。

川口地域公民館の補修について

昭和51年に竣工した地域公民館の外回りの塗装や内外の補修をお願いしたいが。

3地域の皆さんが安全で、かつ快適に使用していただくため、希望に添えるように対処する必要があります。

本市の農業の将来について

担い手が極度に不足している現在、規模の大小でなく、今農村で頑張っている高齢者、女性を担い手と考えた政策の展開を。

元気のある村づくり事業として平成16年度からは、地産地消事業と特産品の開発や販路の拡大など、取り組みの支援を行っているので、ぜひ活用していただきたい。

夢のある農村づくりのために

農村人口を増やす支援を考えていただきたいが。

平成18年度から始まる第4次総合計画の中で、農地は定住することが最重要と位置づけ、U・J・Iターンをターゲットに定住可能な施策を検討し、総合計画を進めたいと考えている。

日本共産党市会議員団

仲林 清貴 渡辺 麻子
足立 進

合併問題への対応

問 新市建設計画の中に位置づけられている複合施設は、保健や福祉の機能を合わせもつとされているが、具体的な内容は。

答 保健や福祉については、これからの検討課題だ。

問 来年4月以降の合併新法でも、交付税や地方債での対応は期待できるので、急ぐ必要はないと考えるが、市長の見解は。また、住民説明会はいつ実施するのか。

答 特例債の優遇を受けるために、平成17年3月までに京都府へ申請しなければならぬので、12月議会での議決が望ましい。新法よりも現行法の方が大きく有利だ。説明会は調印の前に、前回と同じ方法で実施したい。
(企画環境・企画推進課)

大型店出店への対応

問 大型店の出店の対応で、小売商業調整特別措置法による対応ができるのではないか。また、現在の市長の見解は。

答 小売商業調整特別措置法の取り扱いについて京都府と協議する。商店街などへの影響もある。周辺の道路

事情から、これ以上の停滞を起こしてはならない。賛成か反対かは言わないが、業者のモラルの問題。(経済・商工業観光課)

駅南の土壌汚染対応について

問 再調査の結果に基づいて、汚染された土壌の対策や住民への対応が必要となるが、JRの責任や費用負担についての見解は。

答 汚染状況によって、掘削や覆土など適切な措置を府の指導に基づき、JRともに行う。地価下落の問題など今後研究したい。再調査の上で、誠意ある対応をJRに求めていきたい。(駅周辺整備室)

校庭開放指導員の労働条件は

問 校庭開放指導員の労働条件を明確にすべきではないか。

答 30数年前から事業が始まり、ボランティア的なもので謝礼的な意味で報償費を支給している。見直す時期もあったが、雇用契約も十分考えていかないといけない。今後、学童保育的なものとのドッキングも検討されている。
(教委・生涯学習課)

猪崎河川敷に水洗トイレを

問 猪崎河川敷のトイレは、利用者から改善要望が出ている。綾部市のように移動式の水洗トイレが設置できないか。

答 必要性は認識しているが、高額で、今後の検討課題としたい。
(教委・生涯学習課)



整備・水洗化の要望がでている猪崎河川敷トイレ

生活保護行政のあり方

問 京都府の裁決によって、本市の生活保護行政の問題が明らかになったが、市の見解は。

答 誠に申し訳なく思っている。謙虚に受け止め、今後は、きめ細かく対処したい。
(福祉・社会福祉課)

京都交通バスの今後について

問 管財人から一定の再建計画案が示されたが、どのような内容か。今後路線が廃止される地域への対応は。

答 現在協議中で確定はしていない。市民ニーズと財政のバランスを考えて対応していく。
(市民人権・生活交通課)

市政会

吉見 光則 大西 敏博

防災について

問 自治会に対する情報伝達の方法は。

答 サイレン・駐在員・消防団を活用する。防災行政無線については、新市の建設計画においてIT戦略の中で考えている。

問 避難勧告に基準を設定しては。

答 人命尊重を最優先する。状況により臨機に対応することが必要である。

問 木造家屋に対し、耐震診断費用の助成を。

答 内容を研究し、今後検討したい。

問 防災担当官を配置しては。

答 防災計画に基づき実施するので、専門官の設置は考えていない。
(総務・総務課)

学校教育について

問 安心・安全な教育について今後の取り組みは。

答 昨年12月、全小中学校・幼稚園で門扉の有無を調査し、小学校では惇明、昭和、成仁に、幼稚園は昭和、遷喬に門扉を設置した。ない所もあるが、年次計画に従い設置していきたい。

問 命の教育の実施状況は。

答 重大事件が多発する中、実感として命の問題を考えていない現状が見られるが、本市では心のノートを活用して、道徳教育の一環として計画的に実施している。
(教委・学校教育課)

問 総合福祉会館について

答 合併に関連して、福祉会館のあり方も大きな問題である。築28年経過しており、抜本的な解決はか
(福祉・管理課)

問 駅北開発について

答 コミュニティ道路を駅前広場に接続できないか。
福知山市の支関にふさわしいものとするため、住民参加のまちづくりとして、府公安委員会など関係機関との協議をはかりながら検討を進めていきたい。
(駅周辺整備室)

問 緊急雇用創出事業について

答 景気の改善が見られない中、今後継続の考えは。
本年度が最後の年であるが、この制度の趣旨を継承し、充実した制度の創出を国、府へ要望していきたい。
(企画環境・企画推進課)

公明党議員団

小野 喜年 今次 淳一

防災施策について

問 野花・野際・行積は、地すべり危険箇所指定されているが、地元住民は認識していないようだが、

答 関係機関と連携をとり、現状把握と啓発に努めている。

問 被害状況をいち早く知らせるためにホームページの活用を。

答 情報が正確に確認できていない時点での掲載は混乱する。

問 高齢者・障害者に対する市の取り組みは。

答 地域防災計画で作成している。民生委員・自治会・ボランティア・隣近所の協力が必要である。
(総務・総務課)

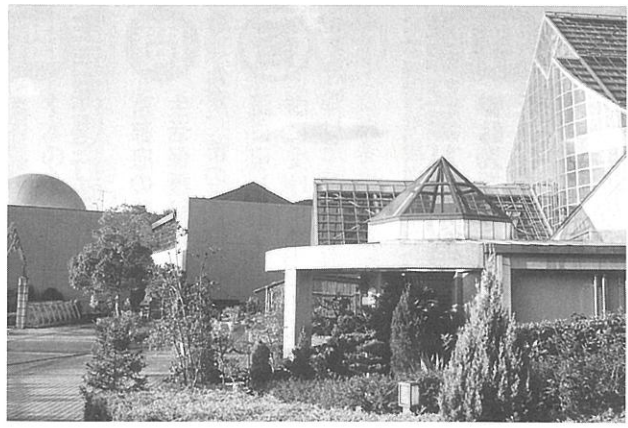
三段池公園の整備管理について

問 プラネタリウムの観覧料が高い。児童科学館入館料と切り離して210円で観覧できないか。

答 施設の構造上問題がある。他市の類似施設を調査し検討する。

問 植物園のガラスの汚れやツタが枯れて見苦しい。遮光カーテンは古くなった。早急に予算化を。

答 ガラス清掃の必要性は認識している。遮光カーテンは現在では不要になった。
(建設・都市計画課)



児童科学館と都市緑化植物園

市民病院における施策について

問 診察医以外に他病院の医師に診断や治療法について意見を求める、セカンドオピニオンの導入施策を市民病院にも取り入れては。

答 制度としてはないが、今は若い先生が積極的に実施している。
(病院・医事課)

介護予防システムについて

問 医療費や介護保険料を削減するために、健康寿命を2年間延ばす目標を決めて、筋力トレーニングを専門家に来てもらい「ふれあい・いきいきサロン」で実施しては。

答 市や在宅介護支援サービスセンターの職員が出席して実施している。平成15年はサロンに860人が参加された。
(福祉・管理課)

無党派

荒川 浩司

くりのみ園の支援費制度について

問 本市で唯一の障害者療育施設である「くりのみ園」の実情と今後の考え方は。

答 園児は31人で、週1回の通園。障害の種類は、自閉症13人、発達遅れ7人、脳性麻痺5人、ダウン症4人など(16年度)。今後は、保護者の意向に添った療育をめざし、専門職の導入も課題である。法人格の制度参入も可能になった。障害者計画策定に向けた市民の懇話会の立ちあげや、子どもの福祉保育をめぐる現状について「次世代育成懇話会」の中でも議論し、方向性を示したい。
(福祉・管理課)

温水プールの改善について

問 ロビーの分煙とスイミングスクールとの契約内容は。

答 分煙については、喫煙場所の移動を考えている。スイミングスクールとの契約は、体育協会や水泳協会との関連もあり、契約内容については、今後、十分に調べさせていただきたい。
(教委・生涯学習課)

市民厚生委員会審査報告

付託された、一般会計補正予算等4議案を慎重に審査した。

一般会計補正予算の内容は、上豊富保育園移転改築にかかる補助、児童虐待防止市民会議及びびネットワーク会議の設立、児童扶養手当受給者の増によるもの、11月からの新紙幣使用開始に伴う住民票・印鑑証明書自動交付機のシステム改修、乳児の10か月健診時の骨折事故に伴う賠償金であった。

病院事業会計補正予算については、来年5月を目標とする薬剤院外処方導入にかかる、システム構築費等の準備経費であった。

他の福知山市手数料条例の一部を改正する条例の制定については、戸籍謄本等の電算化に伴うものであった。

各委員からの質疑応答の中で、特に、病院の薬剤院外処方導入については、新病院開設までは院内処方も残すことや交通手段のない高齢者等への配慮の要望、また、院外処方そのものに賛成できない意見もあった。

以上で審査を終え、採決の結果、病院事業会計補正予算は、賛成多数、他は全員賛成で原案のとおり可決された。

総務委員会審査報告

当委員会に付託された議第15号平成16年度一般会計補正予算など2議案について審査を行った。

歳入では、都市計画事業債の充当率についての質疑があり、当初予算編成時は75%であったが、その後90%に拡大されたものとの説明であった。

歳出では、都市計画道路厚水内線裁判に係る弁護士2名の報酬金支出について、一審から上告までの全報酬額か、弁護士を途中から2名とした理由は、また、具体的な積算根拠について質疑があり、積算の考え方と手法について詳細な説明があった。

議題19号、治水記念館条例の制定については、記念館が行う各種事業の内容、火曜休館日の根拠、維持管理経費及び駐車場設置の見通しと3月開館までの今後の予定、併せて指定管理者選定の考え方についての質疑に説明があった。

追加提案された議第27号は、台風18号による被害に伴い、緊急に復旧するための事業に対し、災害復旧事業債や前年度繰越金を充当するものである。

以上の経過で審査を終え、採決の結果、全議案全員賛成で原案のとおり可決された。

文教建設委員会審査報告

当委員会に付託された議第15号平成16年度一般会計補正予算など5議案について慎重に審査した。

天井川改修事業、石原土地区画整理事業、三段池公園整備事業は、国の補助内示が当初予算を上回っていたため補正するものである。

南陵中学校管理棟の外壁改修工事については、外壁モルタルの落下があり、外壁すべてのモルタルを剥がして、新たに防水塗材を吹き付ける予定で、工事は冬休みを中心に行いたいと説明を受けた。

温水プールの整備については、腐食によるソーラーシステム配管の漏水改修工事に係る経費を補正す

るものである。図書館開館時間延長による委託業務は、利用者の利便をはかるため、開館時間を午後8時まで2時間延長し、その間のカウンター業務を民間委託するものである。

追加提案された議第27号は、六十内3号線の柿本橋、成仁小学校体育館屋根破損、市営住宅つじが丘団地の一棟6戸のスレート屋根の破損等、台風18号による施設災害復旧に要する補正である。

以上の経過で審査を終え、採決の結果、いずれも全員賛成で原案のとおり可決された。

経済委員会審査報告

当委員会に付託された平成16年度一般会計補正予算等の3議案について審査を行った。

下水道関係では、三岳地区における合併処理浄化槽設置整備事業に対し、今後公共下水、農集排、合併浄化槽の経費負担を一本化できないのかという質疑に対し、設置方法が違う点から困難であるという答弁があった。

経済部関係では、地域経済活性化緊急特別事業について、本市で一年以上居住されている個人所有の住宅、店舗を改修する場合、30

万円以上の工事の発注で、工事費の10%（上限10万円）の助成をするという内容であり、TMO事業との連携とともに、取り組むという説明を受け、質疑を行った。

水道事業関係では、下荒河浄水場築造工事費用の補正であったが、よりよい安定した水を供給し、災害時でも対応できる施設として、管理を行っていききたいとの説明があった。

以上の経過で審査を終り、採決の結果、全議案全員賛成で可決された。

9月定例会で提出した意見書

■郵政事業の経営形態に関する意見書

現在、政府においては、行財政改革の中核と位置付けた郵政事業の分割民営化が議論、検討され、過日、基本方針が閣議決定されたところである。

しかし、民営化の意義や目的、効果や影響などについて十分に説明されていないなど、国民的議論を重ね、慎重に検討すべきであるとの世論が大勢である。

さらに、民営化までの事業継続運営主体として平成15年4月に発足した郵政公社においては、民間経営手法を取り入れるとともに、各事業制度の見直し、独立採算方式の経営改善努力や全国津々浦々の24,700の郵便局ネットワークによる離島、過疎山間地域までのユニバーサルサービスの堅持と国民の経済生活の安定と福祉向上のために総員最大限の努力が続けられているところである。

全国の郵便局が、今日まで提供してきた郵便、貯金、保険という国民生活に密着した業務、そして、安全安心の拠点として国民の経済生活の安定と地域福祉の向上などに大きく寄与してきたという実績を振り返るとき、分割民営化による収益採算性の重要視と不採算地域局の廃止統合、料金値上げ等々の公的公平なサービスの低下と不利益を被ることが大いに危惧される。特に、離島、過疎山間地域や市街地から距離を有する地域においては、従来からのユニバーサルサービスの維持継続が困難となり、地域住民生活に多大な悪影響を及ぼすことが心配される。

ついては、今後の郵政事業の改革にあたっては、下記事項を十分に勘案、検討のうえ、慎重に対処いただくよう強く要望する。

記

- 1 郵政事業改革が、何のための改革であり、国民の社会生活や経済に与えるメリット、デメリットを詳細かつ判りやすく国民に説明をされたい。
- 2 郵政事業組織が果たしている社会的役割の重要性と有効性を評価し、地域切り捨てともなる性急な結論を避け、まずは国民のニーズを十分に吸収し、完全な補完措置が講じられる方策等の議論の進展を図られたい。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成16年9月30日

衆議院議長・参議院議長
内閣総理大臣・総務大臣 宛
財務大臣
経済財政政策、郵政民営化担当大臣



私たち議員も、次代を担う子どもたちのために悔いを残さないよう真摯に努力を重ねてまいります。

議会だよりを一層市民の皆様
に親しんでいただける紙面にす
るため、今後とも研さんに努め
ますので、皆様のお声をお寄せ
下さい。

請願(9月定例会上程分)の審査結果

■採択したもの

◆郵政事業の経営形態に関する請願

・請願者
福知山郵便利用者の会 会長 西田 豊
福知山簡易保険加入者の会 会長 芦田圭史
福知山郵便貯金利用者の会 会長 奥田省三
郵政退職者近畿共助会 京都北支部
副支部長 光田芳彦

議会だより 9月～10月 日誌



〔9月〕		〔10月〕	
17日	16日	10日	9日
10日	8日	1日	21日
30日	24日	22日	6日
29日	28日	15日	7日
		8日	5日
		19日	4日
		15日	3日
		8日	2日
		1日	1日

編集後記

今年の夏は、ことのほか暑く、また、夏の終りには台風16号、18号が相ついで襲来し、その間には紀伊半島沖地震まで発生しました。さらに、9月定例会会期末を迎えた29日夜には、台風21号が大雨を降らせました。大きな被害を受けられた皆様には心からお見舞いを申し上げます。

さて、新しく高日市長、山段助役の新体制ができ、「安心・安全で住みやすい街づくり」をめざして市政の運営を期待するものです。